

## 第 45 年次（平成 28 年度）事業報告

### 1 教育文化事業

#### (1) 顕賞事業

当財団の主要事業である顕賞式を開催し、「教育文化特別賞」等（教育、文化、スポーツ等の各分野ですばらしい実績を収めた者に対して）の表彰、財団に多額の寄附をした方々に対して平成 27 年 4 月 1 日に制定した「財団活動貢献賞」を贈呈した。

##### ①開催日

日 時	平成 29 年 2 月 18 日（土） 午後 1 時 30 分
場 所	あえりあ遠野 交流ホール

##### ②被顕賞者の実績

名 称	一般の部		児童・生徒の部		計	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
教育文化特別賞	1				1	
教育文化特別奨励賞	文化活動部門					
	体育活動部門		5	1	5	1
教育文化奨励賞	文化活動部門	1	19	4	20	4
	教育活動部門		1			1
	体育活動部門		27	12	27	12
	社会活動部門					
財団活動貢献賞	1				1	
合 計	3	1	51	17	54	18
平成 27 年度実績	6	1	52	21	58	22

#### (2) 教育文化事業の共催・後援

共催・後援を行った催し物は次のとおり。

開催年月日	区分	名 称
平28年		
7月2日(土)	後援	プラン・ジャパン映画上映会「Girl Rising～私が決める、私の未来～」
7月23日(土)	後援	MANBO INN「FIVE Brothers TOUR 2016」遠野公演
8月26日(金) ～27日(土)	後援	おおたか静流なないろの声コンサート
8月28日(日)	後援	第34回日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン
10月23日(日)	共催	第11回遠野市民芸術祭合同茶会
10月29日(土)	共催	第11回遠野市民芸術祭舞台合同発表会
10月29日(土) ～30日(日)	共催	第11回遠野市民芸術祭総合展示会・菊花展
11月27日(日) ～12月4日(日)	共催	「第15回絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展
平29年		
1月14日(土)	共催	地域で子どもを育てる活動発表会
2月25日(土) ～26日(日)	共催	第42回遠野物語ファンタジー「目覚めよ！進尽～未だ忍峠」公演
平成27年度実績		共催：7件、後援：4件

(3) 広報活動の推進

①新財団の設立趣旨及び事業概要を広く市民に周知するため、広報を発行し全戸配布した。

○広報発行 2回 (7月、1月)

②ホームページやフェイスブックにて随時情報発信をして、活動を広くPRした。

(4) 書籍販売

書籍の販売の実績は次表のとおり。(単価：円、冊)

書籍名	販売単価	販売冊数	販売収入
山奈宗真	@ 420	14	4,780
早池峰妙泉寺文書	@ 2,280	8	14,820
佐々木喜善小伝	@ 800	31	19,600
遠野人工藤千蔵	@ 1,400	2	2,450
合 計		55	41,650
平成27年度実績		50	44,870

(5) その他

「未来のまちづくり・みちづくりフォーラム」実行委員会が主催する未来のまちづくり・みちづくりフォーラム「ハイスクール世界サミットin福島」(8月8日～10日)に市内高校生2名を派遣した。

## 2 国際交流事業

### (1) 中高生海外派遣交流事業

#### ①中学生海外派遣交流事業

次代を担う中学生の国際理解や国際交流への関心を高め、また、海外での異文化体験を通じてグローバルな視野と感覚を醸成させるとともに、自国「日本」や郷土「遠野」を考える機会とし、国際化に対応できる人材の育成を図ることを目的に、アメリカ・テネシー州・チャタヌーガ市に中学生を派遣した。

区 分	開催年月日	内 容
派遣生選考委員会の開催 (2回)	7/5・8/5	選考委員：4名
事前研修の開催(6回)	8/25・9/22・10/21・ 11/2・11/30・12/8	
中高生・市民ツアー合同結団式	12月26日	あえりあ遠野中ホール 出席者：約60名
チャタヌーガ市CSLA校へ 中学生を派遣	H29.1/6～16 (9泊11日)	派遣者：中学2年生：生徒9名 引率者：2名(事務局、中学校教諭)
中高生・市民ツアー合同報告会	2月2日	あえりあ遠野交流ホール 出席者：約100名

#### ②高校生海外派遣交流事業

次代を担う若者が、海外での異文化体験を通じてグローバルな視野と感性を醸成するとともに、日本や遠野を考える契機として国際理解や国際交流への関心を高め、国際化に対応することができる人材の育成に資するとともに、先進的な現地企業の研修等により、生徒が具体的な将来像について幅広く考える機会とすることを目的に、アメリカ・テネシー州・チャタヌーガ市に高校生を派遣した。

区 分	開催年月日	内 容
派遣生選考委員会の開催 (2回)	H28/7/5・8/3	選考委員：4名
事前研修の開催(6回)	①と同様	同左
中高生・市民ツアー合同結団式	①と同様	同左
チャタヌーガ市CSAS校へ 高校生を派遣	H29/1/6～18 (11泊13日)	派遣者：高校生：生徒4名 引率者：2名(事務局、高等学校 教諭)
中高生・市民ツアー合同報告会	①と同様	同左

### (2) 姉妹都市交流事業(イタリア・サレルノ市)

今年度未実施

### (3) アメリカ・テネシー州・チャタヌーガ市との交流

アメリカ国テネシー州チャタヌーガ市は、かつて深刻な河川・大気汚染に見舞われ、1969年には「全米で最も大気汚染のひどい街」という汚名をもらうほどであった。それから30年、官民一体となった街づくりへの取り組みの結果、1996年には「都市開発と環境改善を

両立させた街」として国連から表彰されるなど、今では「全米で最も住みやすい街」ともいわれている。

チャタヌーガ市とは、平成2年度から平成20年度まで高校生の相互交流と平成11年度からの中学生海外派遣交流事業がきっかけで、同市から姉妹都市提携を望む動きもあることから、財団として将来を見据え、住民参加による環境再生のまちづくりやチャタヌーガ市民のボランティア精神とおもてなしの心に触れ、市民との交流を深めるため、チャタヌーガ市民視察ツアーを企画し実施した。

区 分	開催年月日	内 容
参加者説明会の開催	12/9	
中高生・市民ツアー合同結団式	①と同様	同左
チャタヌーガ市を視察	H29/1/6～12 (5泊7日)	視察者：市民等10名 引率者：2名(事務局)
中高生・市民ツアー合同報告会	①と同様	同左

(4) ドイツ・シュタイナウ市との交流

今年度未実施

(5) コーディネーターの活用

今年度未実施

(6) 国際理解事業

英会話教室等、外国語を学ぶ機会の提供や遠来の外国人観光客等に日本文化体験を通じて外国人との交流の機会を提供の充実に努め、国際化の推進を図った。

①キッズワールドクラブ

本格的に英語を学習する前の段階で、楽しく英語に触れること(英語を使用したゲームや絵本の読み聞かせなど)により英語に対する抵抗感をなくすとともに、異文化理解の心を育むことを目的に、幼児と小学生を対象とした英語に親しむ教室を開催した。

○実績等

コース・対象等	実施月日						会 場	受 講 人数等
	1回	2回	3回	4回	5回	6回		
アップルコース 幼児(年少～年長)	6/11	7/9	8/6	9/3	10/8	11/5	勤労青少年ホーム 集会室	17名
ストロベリーコース (小学1・2年)	6/9	7/14	8/4	9/1	10/13	11/10		7名
フラワーコース (小学3・4年)	6/6	7/4	8/8	9/5	10/17	11/7		12名
スターコース (小学5・6年)	6/19	7/10	8/7	9/4	10/9	11/20		5名
合同クリスマス パーティー	12/11						あえりあ遠野 中ホール	47名

②遠野 de 日本文化体験事業

遠野を訪れる外国人に日本文化や遠野文化を体験するメニューを提供し、インバウンド拡大と市民が外国人と交流を図る機会をつくった。

○実績

実施年月日	国名	内容	参加人数
平成28年5月12日	アメリカ	剣道	10名
5月13日	アメリカ	茶道	10名
		箏	10名
計			30名
平成27年度実績(のべ)			98名

③実践おもてなし講座の開催(インバウンド対策委託事業として実施)

昨年度は、企業向け英語講座「いきなり実践かたこと英語講習会」として、外国人観光客に対する抵抗を払拭し、サービスの向上とインバウンド拡大を目指し、外国人にやさしいまちづくりを目的として開催したが、28年度はインバウンド対策委託事業として回数を減らして対象を拡大して実施した。

区分	参加団体名	6/22	7/27	8/31	計(延べ)
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野みらい創りカレッジ</li> <li>・着物を楽しむ会</li> <li>・市連携交流課</li> <li>・遠野ふるさと公社</li> <li>・遠野商工会(女性部・男性部)</li> <li>・遠野山・里・暮らしネットワーク(遠野民泊協会)</li> <li>・あえりあ遠野</li> </ul>	17	16	11	44

○H27年度実績

対象	実施月日						受講人数等
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	
観光協会職員 ふるさと公社職員	H27 12/2	12/3	12/9	12/10	12/15	12/22	20名
観光協会職員	H28 3/1	3/4					4名

④かんたんおもてなし英語の開催(委託事業の講座として実施)

外国人観光客に対し、会話のみならず様々な方法を使って、コミュニケーションをとることを学び、おもてなしによる外国人にやさしいまちづくりを目指すことを目的に実施した。青笹地区センターと遠野市民センター講義室及び宮守ホールべごっこホールで各1回ずつ開催した。

○実績

対象	実施月日			受講人数	H27年度実績	
	2/21	2/22	2/23		回数	人数
受講希望者	5	6	2	13名	4	13

(7) 在住外国人支援事業

①日本語教室の開催

在住外国人支援の一つとしての活動。ボランティアが学習支援を行うとともに、地域住民と在住外国人とのかけはしとなることを目指し、4月から3月まで延べ23回開催した。

○学習者13名(延べ180名)      ○日本語ボランティア4名

(8) AUボランティア受け入れ事業

今年度未実施

(9) 普及啓発事業

国際交流事業について市民の理解を深めるため、ホームページやフェイスブック等で情報提供を行い、啓発活動を実施した。

(10) 国際化推進支援員の確保

期 間	平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日
氏 名	アレックス・ヒューイ
国 籍	アメリカ(テネシー州チャタヌーガ市)

(11) その他の外国との国際交流関連事業

ア 台湾

台湾との国際交流のため、遠野のもの・こころ海外交流推進委員会の文化部会の一員として市及び関係機関、団体との連携・協力のもと活動した。

年月日	内 容
10/27	(仮称)オール遠野で海外交流実行委員会設立総会(遠野のもの・こころ海外交流推進委員会に改名)で及川理事長が副会長に選任
11/9	遠野のもの・こころ海外交流推進委員会第1回臨時総会
11/13～16	台湾公式訪問団に奥寺次長が参加
11/28	遠野のもの・こころ海外交流プロジェクト第1回報告会
1/23	遠野のもの・こころ海外交流プロジェクト第2回報告会
2/21～25	インターンシップ法政大学留学生(台湾人)の研修に協力

### 3 生涯学習事業（市からの受託事業）

市から委託を受けている生涯学習事業については、契約内容に沿って着実に実施した。

#### (1) 生涯学習のまちづくり推進事業

##### ①生涯学習講座

各種講座を開催し、毎月、広報とおの「学びのいずみ」への原稿提供をし、生涯学習講座等の参加者募集を行った。

特に、国際理解講座については、青年海外協力協会（JOCA）の連携協力を得て、遠野にいながら他の国について身近に感じられるように、知識だけでなく、料理なども取り入れて開催した。

##### ○実績

分類	講座名等	開催日	受講人数	H27 実績
郷土理解	遠野遺産巡り（小友・宮守地区）	H28/4/28	14名	44名 （3講座）
	郷土理解講座「そば打ち教室」	12/23	22名	
情報化社会	IT講座（超初級・エクセル初級・ワード初級・エクセル中級の4コース）	各4回	26名	26名 （4コース）
	タブレット講座	H29/3/16 3/17	0名	
国際理解 国際協力	国際理解講座（4ヶ国）	各1回	64名	123名 （6ヶ国）
	簡単おもてなし英語	H29/2/21 ～2/23	13名	
趣味	植物物語（藤沢の滝編）	6/27	0名	64名 （5講座）
	植物物語（八幡平八幡沼周遊編）	7/26	34名	
	手づくり講座 （男子限定 南部料理教室）	H29/1/28	10名	
	アロマテラピー講座～クレイ&ハーブウォーター～	3/8	7名	
その他	若者向け講座（Pokemon GO! In Tono GO（遠野郷）!）	10/22	0名	64名 （3講座）
計			190名	322名

《受講人数の減の主な要因》

- ・植物物語（藤沢の滝編）は天候及び熊の出没警報のため中止した。
- ・若者向け講座、タブレット講座は希望者がなかった。
- ・国際理解講座の回数を6回から4回とした。
- ・昨年の植物物語は2回実施で41名の参加であった。
- ・アンダーエイジの若者向け講座に38名の参加があったこと等による。

##### ②市民協働企画事業（マナビィクラブ）

市民が行う各種講座運営の支援、完成作品を市民芸術祭に展示した。

##### ③PR活動

広報とおの「学びのいずみ」への情報提供（毎月）や財団広報、チラシ、ホームページ及びフェイスブックを通じ、生涯学習講座等の参加者を募集した。

#### (2) 青少年活動サポート事業

少年少女ふるさと発見探偵団や少年少女囲碁・将棋教室などを行い、青少年の健全育成を推進した。

##### ①少年少女ふるさと発見探偵団

開催日（開催回数）	内 容 等
5/29・6/25・8/6～7・9/10・12/17・1/21(6回)	活動を通して児童同士の交流と郷土の魅力発見に取り組んだ。 団員数 17 名

②少年少女囲碁・将棋教室

分 類	開催日（開催回数）	会 場	受講者数等
少年少女囲碁・将棋教室	H28/ 6/11・7/9・8/6・ 9/3・10/8・11/5・ 12/3	勤労青少年ホーム 集会室及び書院	受講児童数 29 名
少年少女囲碁・将棋教室大会	H29/1/28	勤労青少年ホーム 集会室及び書院	参加児童数 28 名

(3) 社会教育団体活動支援

遠野ユネスコ協会の事業を推進するため、協会の事務支援を行った。

(4) 地域づくりにつながる事業展開

今年度未実施

(5) 生涯学習活動の情報提供の充実

市内で行われる生涯学習活動の情報を収集し、市民に活用してもらえるよう、広報とおの「学びのいずみ」での情報提供のほか、ホームページ、Facebook 等の電子媒体に掲載した。

(6) サポーターの養成

財団活動の円滑な実施を支援してもらうとともに、サポーターが活動実践を通じて、人と人との触れ合いの中で、ボランティア精神の醸成やコミュニケーション能力を養成するため、財団活動サポーターを募集・登録して、財団が主催または共催する事業に協力いただいた。

区 分	H28	H27
高校生	29	21
大学生		1
一 般	2	1
計	31	23



#### 4 芸術振興事業（市からの受託事業）

市から委託を受けている芸術振興事業については、契約内容に沿って着実に実施した。主なものは次のとおりである。

##### （1）公演事業（市民センター自主事業・岩手県青少年劇場）の実施

###### ①市民センター自主事業

実施年月日	公演名	会 場	鑑賞者数
平成 28 年 7 月 31 日	遠野市民センターリニューアルオープン記念「笑顔と夢を絆で・・・美川憲一コンサート」	市民センター大ホール	860 名
計			860 名

###### ②岩手県青少年劇場

実施年月日	公演名	場 所	鑑賞者数
平成 28 年 6 月 20 日	演劇 演技集団 朗 「約束～大切なもの～」	市民センター大ホール	576 名
7 月 1 日		みやもりホール	140 名
計			716 名

##### （2）遠野市民芸術祭（遠野市民芸術祭合同茶会、遠野市民芸術祭等）の開催

第11回遠野市民芸術祭合同茶会及び遠野市民芸術祭を実行委員会方式により行った。

分 類	開催日	会 場	入場者数	H27
合同茶会	平成 28 年 10 月 23 日	市民センター講義室 青少年ホーム和室	325 名	240 名
舞台合同発表会	10 月 29 日	市民センター大ホール	882 名	388 名
総合展示会	10 月 29 日～30 日	市民センター体育館	1,958 名	657 名
菊花展		あえりあ遠野中ホール		100 名
計			3,165 名	1,385 名

※H27 は舞台合同発表会会場（市民センター大ホール→みやもりホール）変更と分離開催により入場者数が減少したと思われる。

##### （3）遠野少年少女合唱隊の運営

遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。

###### ①毎週土曜日の通常レッスン

###### ②発表会等の開催

分 類	開催日	会 場	備 考
入隊式	平成 28 年 5 月 7 日	勤労青少年ホーム音楽室	入隊者 4 名
遠野市民センターリニューアルオープン記念事業	5 月 28 日	市民センター大ホール " ホワイエ	16 名出演
希望郷いわて国体 100 日前記念イベント	7 月 3 日	市民センター大ホール	16 名出演
おおたか静流なないろの声コンサート	8 月 27 日	あえりあ遠野中ホール	15 名出演
第 27 回発表会	11 月 13 日	あえりあ遠野中ホール	入場者数 108 名
ハートフルステージ～音楽で育む「人権」の集い	12 月 3 日	あえりあ遠野中ホール	17 名出演
第 2 回花巻国際平和音楽祭	12 月 8 日	花巻市定住交流センター なはんプラザ COMZ ホール	17 名出演

遠野物語ファンタジー	平成 29 年 2 月 25 日 ～26 日	市民センター大ホール	
------------	------------------------------	------------	--

③入隊者数（平成 29 年 3 月 31 日現在） 15 名

(4) 遠野市民センターバレエスタジオの運営

遠野市民センターバレエスタジオの充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。

①毎週、金・土曜日の通常レッスン

②発表会等の開催

分 類	開催日	会 場	備 考
遠野市民センターバレエスタジオ 入所式	平成 28 年 5 月 7 日	市民センター自由劇場	入所者数 6 名
遠野市民センターバレエスタジオ 第 39 回発表会	11 月 20 日	市民センター大ホール	入場者数 530 名

③入所者数（平成 29 年 3 月 31 日現在） 30 名

(5) 市民の舞台遠野物語ファンタジー

遠野物語ファンタジー制作委員会主催による第42回市民の舞台遠野物語ファンタジー旗揚げ会及び公演及び打ち上げ会を事務局として行った。

区 分	期 日	会 場	参加人数
旗揚げ会	平成 28 年 12 月 7 日	あえりあ遠野中ホール	105 名
公 演	平成 29 年 2 月 25 日～26 日	市民センター大ホール	1 回目 586 名 2 回目 491 名 3 回目 370 名 合計 1,447 名
打ち上げ会	2 月 26 日	あえりあ遠野交流ホール	187 名

## 5 会議等の開催

### (1) 理事会、評議員会の開催

財団運営の重要事項等について、適正な決定を行うため次のとおり開催した。

開催時期	名 称	審議(議案)内容
平成 28 年 5 月 20 日(金)	第 1 回理事会	○第 44 年次(平成 27 年度)事業報告及び収支決算並びに公益目的支出計画実施報告書について ○給与規則の一部改正について ○非常勤職員就業規程の制定について ○第 45 年次(平成 28 年度)補正予算(第 1 号)について ○顕賞委員の委嘱について
5 月 27 日(水)	第 1 回評議員会	○一般財団法人遠野市教育文化振興財団理事の選任について ○一般財団法人遠野市教育文化振興財団監事の選任について ○一般財団法人遠野市教育文化振興財団評議員の選任について ○第 44 年次(平成 27 年度)事業報告及び収支決算並びに公益目的支出計画実施報告書について
5 月 27 日(水)	第 2 回理事会	○理事長の互選について ○副理事長及び常務理事の互選について
10 月 18 日(火)	第 3 回理事会	○基本財産の取り崩しについて ○第 45 年次(平成 28 年度)補正予算(第 2 号)の承認について
10 月 26 日(水)	第 2 回評議員会	○基本財産の取り崩しについて ○第 45 年次(平成 28 年度)補正予算(第 2 号)の承認について
平成 29 年 1 月 16 日(月)	第 4 回理事会	○給与規則の一部改正について ○第 45 年次(平成 28 年度)補正予算(第 3 号)について ○平成 28 年度(第 43 回)遠野市教育文化振興財団被顕賞者の決定について
3 月 24 日(金)	第 5 回理事会	○補助金交付要綱の一部改正について ○受託契約の締結について ○第 46 年次(平成 29 年度)事業計画及び収支予算の承認について
3 月 28 日(火)	第 3 回評議員会	○議案なし(報告のみ)

### (2) 内部会計監査機能の充実

下記日程で会計及び事業監査を実施(受検)し、適正な業務執行に努めた。

開催時期	名 称	内 容 等
平成 28 年 5 月 16 日(月)	決算監査	事業報告及び収支決算を監査 出席者 監事 2 名 財団職員 4 名

# 貸借対照表

平成29年 3月31日現在

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,518,793	13,038,945	6,479,848
販 売 用 書 籍	2,518,550	2,575,750	57,200
未 収 金	6,780	9,022	2,242
仮 払 金	0	37,400	37,400
流動資産合計	22,044,123	15,661,117	6,383,006
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
投 資 有 価 証 券	100,353,960	120,277,150	19,923,190
基本財産合計	110,353,960	130,277,150	19,923,190
固定資産合計	110,353,960	130,277,150	19,923,190
資産合計	132,398,083	145,938,267	13,540,184
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,213,251	533,043	680,208
仮 受 金	0	2,763,067	2,763,067
預 り 金	76,300	50,000	26,300
預 り 源 泉	40,908	35,925	4,983
未 払 消 費 税 等	1,976,100	1,824,900	151,200
流動負債合計	3,306,559	5,206,935	1,900,376
負債合計	3,306,559	5,206,935	1,900,376
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	129,091,524	140,731,332	11,639,808
(うち基本財産への充当額)	(118,512,558)	(98,598,128)	(19,914,430)
正味財産合計	129,091,524	140,731,332	11,639,808
負債及び正味財産合計	132,398,083	145,938,267	13,540,184

# 正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 334,692]	[ 428,155]	[ 93,463]
基本財産運用益	334,692	428,155	93,463
受託収益	[ 53,289,970]	[ 49,003,493]	[ 4,286,477]
遠野市受託事業	53,289,970	49,003,493	4,286,477
事業収益	[ 530,830]	[ 918,134]	[ 387,304]
事業収益	530,830	918,134	387,304
受取補助金等	[ 118,000]	[ 100,000]	[ 18,000]
受取地方補助金	18,000	0	18,000
受取民間助成金	100,000	100,000	0
受取負担金	[ 994,347]	[ 658,188]	[ 336,159]
受取負担金	994,347	658,188	336,159
受取寄付金	[ 280,000]	[ 1,050,000]	[ 770,000]
受取寄付金	280,000	1,050,000	770,000
雑収利益	[ 113,368]	[ 111,439]	[ 1,929]
受取利息	4,334	7,034	2,700
雑収益	109,034	104,405	4,629
経常収益計	55,661,207	52,269,409	3,391,798
(2) 経常費用			
事業費	[ 62,987,846]	[ 51,520,338]	[ 11,467,508]
給料手当	( 26,089,594)	( 20,540,231)	( 5,549,363)
給料手当	23,753,915	18,014,718	5,739,197
時間外手当	1,344,279	1,854,263	509,984
通勤手当	615,900	353,250	262,650
住居手当	375,500	318,000	57,500
法定福利費	3,931,317	2,960,506	970,811
退職給付費用	328,000	156,000	172,000
福利厚生費	90,293	75,283	15,010
食料費	257,353	38,255	219,098
広告費	0	259,200	259,200
旅費交通費	5,601,276	3,223,740	2,377,536
筆耕翻訳料	12,960	0	12,960
通信運搬費	519,714	371,939	147,775
使用料	507,740	638,535	130,795
支払手数料	129,620	214,205	84,585
消耗品費	4,184,636	2,502,092	1,682,544
交際費	24,633	10,025	14,608
印刷製本費	1,353,715	1,289,566	64,149
燃料費	108,154	87,498	20,656
賃借料	3,148,872	2,295,038	853,834
保険料	530,274	261,147	269,127

科 目	当年度	前年度	増 減
諸 謝 金	2,242,370	1,654,214	588,156
支 払 負 担 金	779,000	729,000	50,000
支 払 助 成 金	179,960	440,960	261,000
委 託 費	12,956,670	13,772,904	816,234
雑 費	11,695	0	11,695
管 理 費	[ 4,289,979]	[ 5,754,749]	[ 1,464,770]
役 員 報 酬	292,000	236,000	56,000
給 料 手 当	( 4,572)	( 2,421)	( 2,151)
時 間 外 手 当	4,572	2,421	2,151
福 利 厚 生 費	12,922	10,000	2,922
会 議 費	5,600	2,470	3,130
旅 費 交 通 費	182,140	45,790	136,350
通 信 運 搬 費	4,820	4,832	12
使 用 料	64,900	82,225	17,325
支 払 手 数 料	338,818	45,058	293,760
備 品 購 入 費	0	266,397	266,397
販 売 函 書 原 価	48,200	77,000	28,800
消 耗 品 費	328,571	347,235	18,664
修 繕 費	23,193	19,396	3,797
交 際 費	37,500	22,500	15,000
印 刷 製 本 費	8,100	0	8,100
諸 会 費	34,000	34,000	0
工 事 費	77,760	0	77,760
顧 問 料	583,200	583,200	0
研 修 費	4,280	42,000	37,720
租 税 公 課	2,239,403	3,934,225	1,694,822
經常費用計	67,277,825	57,275,087	10,002,738
評価損益等調整前当期經常増減額	11,616,618	5,005,678	6,610,940
投資有価証券評価損益等	[ 23,190]	[ 252,410]	[ 275,600]
投資有価証券評価損益等	23,190	252,410	275,600
評価損益等計	23,190	252,410	275,600
当期經常増減額	11,639,808	4,753,268	6,886,540
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	11,639,808	4,753,268	6,886,540
一般正味財産期首残高	140,731,332	145,484,600	4,753,268
一般正味財産期末残高	129,091,524	140,731,332	11,639,808
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

科 目	当年度	前年度	增 減
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	129,091,524	140,731,332	11,639,808

# 財産目録

平成29年 3月31日現在

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金		19,518,793
		岩手銀行(0257314) )運用		18,188,787
		岩手銀行(2074898) )寄附金		1,330,006
	販売用書籍			2,518,550
	遠野史叢			16,150
	早池峰山妙泉寺 山奈宗真			630,800 202,800
	遠野人工藤千蔵 未収金			1,668,800 6,780
流動資産合計				22,044,123
(固定資産)	基本財産	定期預金		10,000,000
		定期預金(普及啓 発)		10,000,000
		投資有価証券		100,353,960
		第9回投資信託( 野村公社債投資)		9,999,000
		第4回投資信託( 野村公社債投資)		10,002,000
		静岡県債(5年)		60,263,280
		札幌市債(5年)		20,089,680
固定資産合計				110,353,960
資産合計				132,398,083
(流動負債)	未払金			1,213,251
	預り金			76,300
	預り源泉			40,908
	未払消費税等			1,976,100
流動負債合計				3,306,559
負債合計				3,306,559
正味財産				129,091,524



財務諸表に対する注記(一般財団法人遠野市教育文化振興財団)

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

公益法人会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)を採用した。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有有価証券は償却原価法(定額法)

(2) リース取引の処理方法  
リース総額300万円未満のリース契約については、賃貸借取引として会計処理を行う。

(3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

該当なし

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
有価証券	120,277,150	0	△ 19,923,190	100,353,960
備品	0	0	0	0
合計	130,277,150	0	△ 19,923,190	110,353,960

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
有価証券	100,353,960	0	100,353,960	0
合計	110,353,960	0	110,353,960	0

6 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第9回投資信託(野村公社債投資)	10,004,000	9,999,000	-5,000
第4回投資信託(野村公社債投資)	10,006,000	10,002,000	-4,000
静岡県平成27年度第4回公募公債(5年)	60,269,400	60,263,280	-6,120
札幌市平成27年度第1回公募公債(5年)	20,092,320	20,089,680	-2,640
合計	100,371,720	100,353,960	-17,760

(注1)時価は取扱証券会社から提供された時価情報で算定している。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

8 保証債務等の偶発債務

該当なし